

感染性胃腸炎が流行ってきました！
冬に流行る胃腸炎は「ノロウイルス」が主な原因ウイルスです。
特徴を知ってしっかりと予防しましょう。



ノロウイルスの特徴

- ・おう吐や下痢、腹痛などの胃腸炎症状を起こすウイルスです。
- ・10～100 個程度の少ない数で感染が成立します。
(インフルエンザは100～1000 個で感染が成立します。)
- ・ウイルスの大きさはインフルエンザの3分の1以下でとても小さいです。
- ・寒くて乾燥している環境を好みます。(冬に流行る理由)
- ・潜伏期間は1～2 日です。
- ・感染経路はウイルスが付着した手指や食品を介して口から入り感染します。
- ・症状は2～3 日で回復しますが、ウイルスは便の中に1 か月位排出されます。
- ・ウイルスは寒くて乾燥した屋内環境(壁、床、ドアノブ等)では1 か月くらい生きています。
- ・次亜塩素酸ナトリウムの消毒が有効です。(アルコール消毒は有効ではありません。)
- ・加熱処理も有効です。



予防

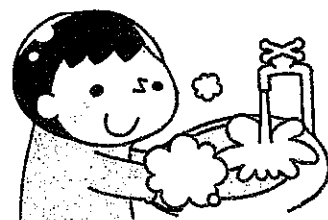


- ・石鹸で手洗いをしましょう。2 度洗いが良いです。
(トイレの後、おむつ替え後、食事の前、食品を扱う前、おう吐処理後)
- ・部屋を暖かくして加湿をしましょう。(ウイルスが苦手な環境)
- ・食品は十分加熱しましょう。(85～90℃で90 秒以上の加熱が必要です。)
- ・おう吐、下痢処理をしっかりと行いましょう。
(保育園ホームページ ほけんだより 11 月号をご参照ください。)
- ・十分な睡眠、栄養、休養をとり免疫力(ウイルスや細菌と戦う力)を高めましょう。



次亜塩素酸ナトリウムについて

保育園ホームページ ほけんだより 11 月号をご参照ください。



ノロウイルスは前述のとおり小さく長生きのため、手のしわに残っていて口に入り感染したり、何週間も前のおう吐や下痢の人のウイルスに感染するということもあります。

保育園は集団生活の場であるため、集団感染を防がなくてはなりません。

そのため、症状がみられるお子さんがいられた場合、早めにお迎えをお願いしております。ご理解とご協力をお願い致します。

お迎えをご依頼する目安

発熱が無くても

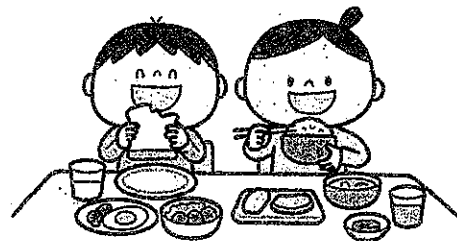
- ・明らかに大量に吐いたとき
- ・いつもより明らかにゆるい水様未消化の便が1回でも出たとき
(入園時の保健のしおりには「24時間以内に2回以上の水様便」とありますが、
胃腸炎流行期は集団感染を防ぐため1回でも出た場合ご連絡させていただきます。)
- ・吐き気や腹痛があるとき



登園の目安

医師の指示にもよりますが、

「薬を服用せずいつも通りの食事をとっても、下痢やおう吐がなく1日過ごせることを確認してからの登園」をお願いしております。



お仕事と育児の両立は大変なことと思います。このようなお願いばかりで大変申し訳なく
思っております。
ですが、早めの対処が集団感染を防ぐだけでなく、お子さんの重症化を防ぎ、早期回復に
つながると思いますので皆様のご理解とご協力をお願い致します。